

## 解答

- ① 問1 エ  
問2 (1) 南東 から 北西 へ (2) 果樹園  
問3 ア 滋賀県 イ 鳥取県 ウ 香川県 エ 熊本県
- ② (1) イ (2) エ (3) カ (4) ク
- ③ 問1 ア  
問2 エ
- ④ 問1 ウ  
問2 イ  
問3 エ  
問4 裁判官  
問5 エ  
問6 ア  
問7 エ
- ⑤ 問1 エ  
問2 富岡製糸場 イ 富士山 オ  
問3 エ  
問4 エ  
問5 ア  
問6 ウ  
問7 ア  
問8 (フランシスコ) ザビエル  
問9 ア  
問10 原爆ドーム

- ⑥ ①弥生時代には朝鮮半島から大陸の人々が渡来し、大陸の土器の製作技術が伝わり、それまでの縄文土器の製作技術に加わったので土器の焼き方にも違いとしてあらわれた。②縄文時代は狩猟・採集・漁中心の生活であり、縄文土器は植物の食料や魚介類の煮炊きや食糧の貯蔵などに利用されていた。縄文時代に煮炊きができるようになった結果、利用できる食料の種類が多くなり、定住生活ができるようになった。栄養状態も良くなり、寿命が延びて人口が増加し、集落も各地に形成された。弥生時代に入ると稲作の方法が大陸から伝わり、それまでの狩猟・採集・漁に加えて農業も行われるようになった。稲作が九州から東北地方まで広まり、土器で米を煮て食べたり、収穫物を貯蔵するようになった。また稲作のための鍬やすき、田げたなどの木製農具や収穫のための石包丁が利用され、収穫物の保管に用いられたと見られる高床倉庫も建てられた。稲作が広まると貧富の差や身分の差が生じ、住居の大きさや墓の副葬品にも違いが見られるようになった。さらに相手のもつ耕地や水、収穫物を狙って戦いが起きようになり、佐賀県の吉野ヶ里遺跡のように柵や濠など敵の進入を防ぐ施設を持った環濠集落も形成された。ムラは集まってクニとなり、クニの王となった人物の中には、奴国のように中国へ使いを送って朝貢を行い、日本の支配権を認めさせようとする者も現れるようになった。